

【部会・分科会活動報告】 2017年5,6月度

食品 安全 研究 会	食品微生物研究部会	<p>1. 分科会活動</p> <p>(1) <u>芽胞菌研究分科会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術報文：「甜菜糖の耐熱性細菌芽胞の汚染評価と紫外線殺菌による不活化」、缶詰時報5月号掲載済 ・ 技術レポート：「高温販売する低酸性飲料用原料の高温性嫌気性有芽胞細菌統一検査手法の開発」、缶詰時報6月号掲載済 <p>(2) <u>MALDI-TOF MS 研究分科会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NITE との第二回会議を6/13に実施。カビ分析法のスタンダードプロトコルの進捗を共有。食品危害カビの系統樹をもとに、優先的に解析するカビについて議論した。第三回会議（10/17）を予定。 <p>(3) <u>チルド勉強会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5/30 低温増殖性芽胞菌に関する勉強会実施。 <p>(4) <u>飲料等の開栓品に対する微生物クレーム低減活動</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国清涼飲料工業会（全清飲）広報委員会と ILSI 参画企業の連携活動として、お客様向けハンドブック作成を進行中。東海大学の後藤先生の監修を受け、変敗するメカニズムをわかりやすく盛りこむ。8月完成目標。 <p>2. 2017年第2回部会全体会議と勉強会</p> <p>日時：5月19日（金）13:00-17:15 場所：花王(株)すみだ事業場（東京）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各分科会からの活動報告 ・ 公開シンポジウムについて審議、共有化 等 ・ 勉強会：HACCPの制度化について 講師：食品産業センター 宮本様、月刊 HACCP 立石様 ・ 施設見学（花王ミュージアム等） <p>3. 2017年度第3回部会全体会議と勉強会（予定）</p> <p>日時：9月28日（木）13:00-17:00 場所：不二製油(株)阪南事業所</p> <p>4. 食品微生物研究部会主催 2017年度公開シンポジウム（予定）</p> <p>題名：HACCPを支える微生物検査とその最新技術 日時：12月15日（金）10:30-17:00 場所：東京大学弥生講堂一条ホール 対象：一般</p>
	食品リスク研究部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ Working Group 新設にむけた準備 ・ 2017年度のワーキンググループ活動案を策定。現在これをベースとして各ワーキンググループの活動目標の設定作業に着手した。 ・ 部会開催予定 日時：2017年7月14日、13:30~15:00 場所：サントリービル ・ 勉強会開催予定 日時：2017年7月14日 15:30-17:00 場所：サントリービル 講演者：藤渕 航（ふじぶち わたる）先生（京都大学 iPS 細胞研究所増殖分化機構研究部門理論細胞解析分野）

		演題：「ヒト ES / iPS 細胞を用いた新しい簡易毒性試験とコンソーシアムの実現に向けて」
	香料研究部会	
	バイオテクノロジー研究会	<p>1. 2017 年度 第 3 回目の会議を 6 月 26 日に開催</p> <p>(1) 在田氏が事務局次長としてバイオテクノロジー研究会の支援をしてくださることになった旨が報告された。</p> <p>(2) 5 月 18 日の ILSI 部会長会議の報告。 ILSI の行動原則について研究会メンバーに周知した。また、歳入・歳出の透明性について、再度、バイオ研究会として事務局に要望することが合意された。</p> <p>(3) ERA プロジェクト調査報告 第 33 号の勉強会。 ・ 10 報の論文をレビューし、意見交換を行った。</p> <p>(4) COMPARE (既知アレルゲンデータベース) について。 ・ 本データベースの普及にあたり、チームを立ち上げた。今後は、チームで説明資料を作るなど、ILSI HESI と連携を取りながら進めることとした。</p> <p>(4) GM 微生物食品について ・ 6 月中旬に ILSI バイオテクノロジー研究会のウェブサイトにて遺伝子組換え微生物食品の安全性評価資料作成の手引書が掲載されたことが報告され、各自周知に努めることとなった。</p> <p>(5) GM 作物について ・ 6 月に開催された ISBGMO 会議報告が、参加した中井氏、松下氏より行われた。現在、イルシー誌に掲載する原稿の作成中。 ・ 昨年の ERA 勉強会の内容をまとめた論文準備の進捗が報告された。 ・ 7 月 10 日開催のゲノム編集ワークショップの準備状況について報告が行われた。</p> <p>2. ERA プロジェクト調査報告 ・ 第 32 号は 7 月発行に向け準備中。 ・ 報告 No.151-300 の集約版を作成することを合意。準備チームを立ち上げた。</p>
栄養健康研究会	栄養研究部会	<p>1. 『第 9 回ライフサイエンスシンポジウム (テーマ：栄養と運動)』の開催に向けて、プログラムの構成についてアカデミアの先生からアドバイスをいただくため、2017 年 6 月 9 日に国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 宮地元彦先生を訪問。</p> <p>2. 2017 年度 第 3 回目の会議開催 (6 月 27 日) ・ 宮地先生の面談内容 (アドバイス) の部内で共有化した。 ・ 宮地先生を栄養研究部会のアドバイザーとしてお招きすることに関して、部会で賛同が得られた。 ・ シンポジウムは半日ではなく 1 日とし、開催時期は日本体力医学会と重ならない 2018 年 9 月前後 2 か月とする。</p> <p>3. 今後の方針について ・ 7 月に再度宮地先生を訪問し、先生からアドバイスをいただきながら、シンポジウムのプログラムを立案・作成していく。</p>
	GR プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 第 3 回多施設試験 (10 施設) の追試を 3 施設で実施

	茶類研究部会・茶情報分科会	<ul style="list-style-type: none"> 茶成分データベース：静岡県立大学で、中国茶試料の測定試料を調製した。カテキン、カフェインを分析中。得られたデータは部会内で共有する。 茶類研究部会新規テーマ：次期テーマを紅茶成分のテアフラビン等有効成分に関して情報収集、勉強会を中心に進めることを決定した。
	食品機能性研究会	
	寄付講座 「機能性食品ゲノミクス」	<ul style="list-style-type: none"> 第III期寄付講座（2013年12月開始、5年間）研究進行中。
健康 な 食 事 研 究 会	健康な食事とはワーキンググループ	
	実態把握ワーキンググループ	
	社会実装ワーキンググループ	
	研究会全体	<p>4月27日の第1回の研究会のフォローアップを順次行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> メンバーのWG分けを行った。 各WGのリーダーの先生と事務局で、サブリーダーの選任、WGの活動方針、WGのルール等について議論を行った。 農水省委託事業の日本食研究についての勉強会の企画を進め、講師3名で8月21日に開催することに決定。 研究費の調達について：JSTの未来創造事業への申請は研究会の活動とあまり整合しないと考えられた。今後の方針については要議論。 <p>今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> WG1「健康な食事とは」の会合；7/13 WG2「実態把握」の会合；7/14 WG3「社会実装」の会合；7/10 <p>第2回研究会；7/14</p>
C H P	Project PAN (Physical Activity and Nutrition)	<p>◇ テイクテン (TAKE10!®)</p> <p>5/10 自主サークルYYテイクテン (中ノ郷信用組合本店, 墨田区)</p> <p>5/25 自主サークルなでしこテイクテン (中ノ郷信用組合立花支店, 墨田区)</p> <p>5/26 横浜市葛が谷地域包括支援センター主催「イケてるおじ様になる講座」(葛が谷地域ケアプラザ, 横浜市)</p> <p>5/27 明和短期大学主催, 味の素株式会社後援, 上毛新聞・ILSI Japan 協力「ロコモ予防サークルセミナー」(明和短期大学, 前橋市)</p> <p>6/7 介護予防「らくらく教室」講習会 (地域包括支援センター千住本町, 足立区)</p> <p>6/7 錦町社会福祉協議会主催「テイクテンリーダー養成講座」(岩国市社会福祉協議会錦支部, 山口県)</p> <p>6/8 吉賀町社会福祉協議会主催 町民向け講演会「吉賀で手に入れるアンチエイジングの術」(吉賀町福祉センター大会議室, 島根県)</p> <p>6/8-9 吉賀町社会福祉協議会主催「テイクテンリーダー養成講座」(吉賀町福祉センター, 島根県)</p> <p>6/9 食生活改善推進委員研修会「自宅でサロンでテイクテン」(吉賀町福祉センター, 島根県)</p> <p>6/24 日本健康教育学会ランチョンセミナー「高齢期の健康とへ</p>

	<p>ルスプロモーション～地域におけるヘルスプロモーションの実践～」(早稲田大学, 新宿区)</p> <p>6/30 震災被災地支援: いしのまきテイクテン (曙北復興住宅集会所, 宮城県)</p>
Project SWAN (Safe Water and Nutrition)	<p>5/4 ベトナム農村地域における母親の離乳食作り啓発支援事業 (AIN 支援事業) : 事業完了ワークショップ (バクザン省保健局主催, 対象村・区・省関係者 24 名参加, バクザン省, ベトナム)</p> <p>6 月 インドネシアにおける Feasibility Study 調査完了</p>
Project IDEA (Iron Deficiency Elimination Action)	特になし
CHP 全体	特になし
国際協力委員会	<p>部会開催 (6 月 21 日)</p> <ol style="list-style-type: none"> ILSI の使命・行動原則の確認 <ul style="list-style-type: none"> 事務局より、改めて全委員に対して ILSI 本部作成の「ILSI の使命・行動原則」の説明がされた。 「アジア各国における栄養表示・健康協調表示のまとめ」の進捗報告 <ul style="list-style-type: none"> ILSI 東南アジア支部の Paulin Chan 氏からアジア各支部に対してフォーマットが提示された (回答期限: 6 月末) が、実際には BeSeTo 会議の場で情報が共有されることになることが予想されると事務局より説明があった。 国際協力委員会の活動戦略について議論 <ul style="list-style-type: none"> 今年度は農林水産省委託事業に応募しないこととなったこと、BeSeTo 会議も 3 巡目が終了予定であり転換期となっていること等を鑑み、今後の当委員会の活動戦略について各委員から意見を求めた。事前にメール等で寄せられた以外に委員会会議当日全出席委員から意見をもらったので、事務局でとりまとめ次回会合でさらに議論を継続する予定。 BeSeTo 会議準備 <ul style="list-style-type: none"> 日本からの演題および演者案を議論した。また、当日の役割を一部決め、ロードマップも示された。
情報委員会	<ol style="list-style-type: none"> 委員会開催 2 回 (5, 6 月) ホームページ <ul style="list-style-type: none"> 日常業務としての更新 (随時) 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> 25 巻 3 号 (通巻 96 号) : 編集 (5/10 刊行) 25 巻 4 号 (通巻 97 号) : 翻訳、監修、編集 (8/10 刊行予定) 5/23 編集委員会開催 (通巻 98 号の採択論文・翻訳者候補決定)
編集部会	<ul style="list-style-type: none"> 「イルシー」誌 130 号発刊 「イルシー」誌 131 号、原稿査読・編集

【講演会・シンポジウムご案内】

講演会名	案内	担当研究部会

【事務局からのお知らせ】

理事会	開催なし。
事務局	5月8日から、次長として、在田典弘氏（元バイエル・クロップ・サイエンス（株）勤務）と雇用契約締結、主にバイオテクノロジー研究会の事務局業務を担当。